



なくせ 原発11

イレブンアクション

最大規模
1700人

玄海原発廃止求め 国・電力会社の責任問う

「原発なくそう!九州玄海訴訟」原告団の第1陣 原告1704人は1月31日、九州電力玄海原発(佐賀県玄海町、4基)の廃止を求めて国と九州電力を相手取り佐賀地裁に提訴しました。原発関連の訴訟としては最大規模。訴訟では、東京電力福島原発事故を受け、原発の「安全神話」をふりまく国と電力会社の責任を追及し、玄海原発の永久運転差し止めを請求しています。

提訴後の報告集会では、弁護団の板井優弁護士は「原発による生活は望まないとこの世論をつくり、裁判の勝利で原発依存の国の政策を変えていきましょう。きょうは、その第一歩です」と訴えました。

3.11

全国各地で集会・宣伝 震災復興・なくせ原発

全国各地で3月11日を中心に、「震災復興」と原発「なくせ」などをテーマに、集会・デモ、宣伝行動などが数多く企画されています。福島では「安心してくらせる福島県をとりもどそう」3・11福島県民大会が、北海道では「福島原発事故から1年、な

くそう原発!許すな再稼働!3・11北海道集会」が、佐賀では「自然エネルギー」が、幅広い団体の共同で開催されます。全国で連帯してこれらの集会を成功させ、1日も早い震災復興・原発のない社会を実現しましょう。

大飯原発

保安院、再稼働は「妥当」

福島事故原因不明のまま

経済産業省原子力安全・保安院は、定期点検で停止中の原発の再稼働のための手続きとなる「ストレステスト」について、関西電力から提出された大飯原発(福井県おおい町)3、4号機の評価結果を審査した結果、「妥当」とする素案をまとめ、1月18日開かれた専門家の意見を聞く意見聴取会に提出しました。

机上のテストで 「安全」は乱暴

福島第1原発事故の原因や教訓が明らかにされていない段階で、コンピュータ上のテストで安全を確認するというのは乱暴すぎます。現在は、原発の是非そのものが問われています。不十分なテストで再稼働などについてのほかです。

